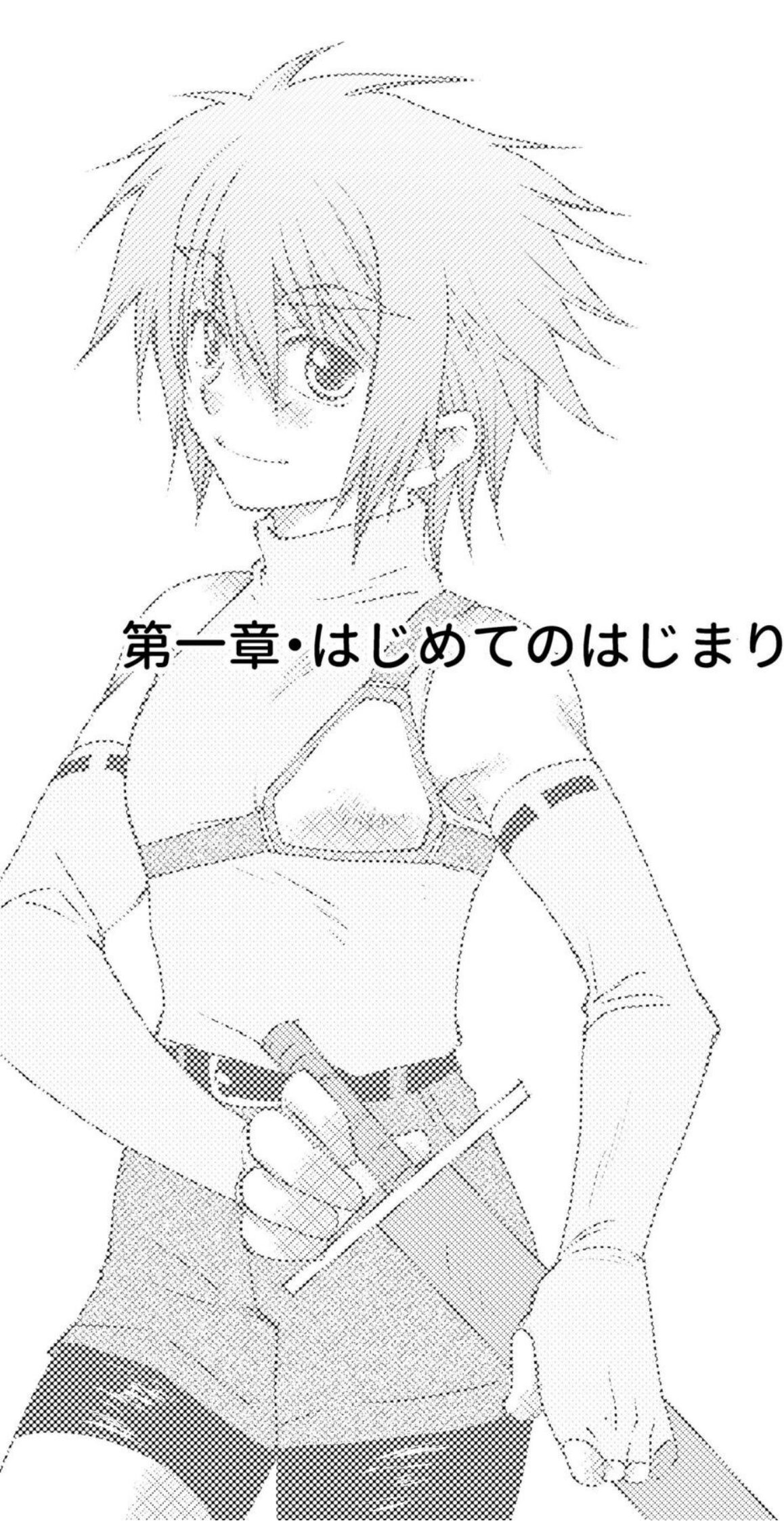


はじめての
冒険記

R18



第一章・はじめてのはじまり

それじゃ母さん、
行つて来ます

気を付けてね
アツシュ。本当は
あなたに危険な事は
させたくないけど…

大丈夫だよ、もう
子供じゃないし！

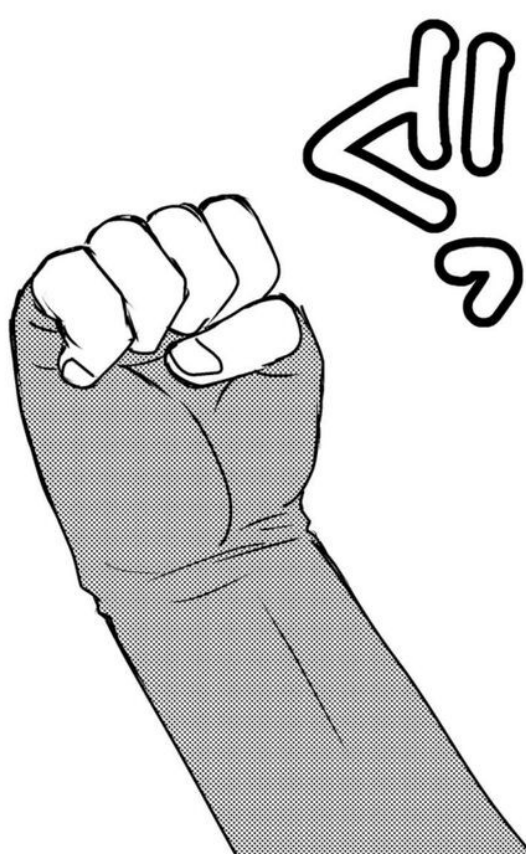
任せてよ！
立派な冒険者になって
母さんに楽させて
あげるんだから！





母さんは僕を女手ひとつで
育ててくれた。
父さんは近衛隊の立派な
騎士だったけど、僕が
幼い頃に王様を助けるために
侵入者に殺されたらしい。

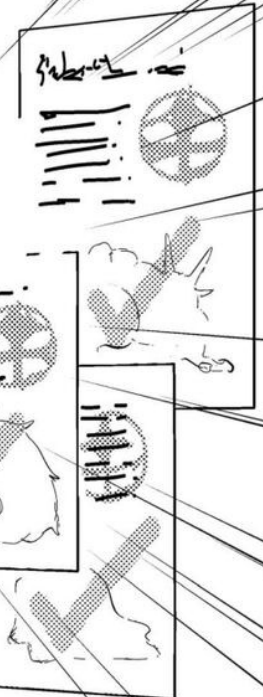
一部では父さんが
暗殺の手引きをしたんじゃ
ないかって噂が囁かれて
いたけれど、僕は
父さんを信じてる。



これからは僕が稼いで
母さんに楽をさせて
あげらんのだ。
それに旅をしていけば
いつかは父さんを巻き込んだ
暗殺者の情報だって
得られるかも！

モンスター管理協会

ああ〜!!
目を付けてた
モンスターが全部
狩られてる!!



マジかよ
あいつ単身だろ
バケモンかよ...

ハヤ
おいおい、また
キルの野郎
上級狩ってるぜ

キルさんか：
また討伐成功
したんだ！

そうだよね：
僕レベルでも：
倒せるモンも：
ほのめる人にはカモ
だよね！



噂の凄腕剣士…！
僕もいつかは
キルさんみたい
に上級冒険者
になるって
このリストに
名前を
刻むんだ…！



酒場…



とはいえ
これから
どうしよう…

初級未満で
いいから手頃な
モンスターの
情報が欲しいなあ







嫌だあ？



やだ...!!
やめて下さい!



二度と手に入らん
情報かもしれないの
かなア?



初心者じゃ
なかなかな
情報収集は
厳しいよなア

わ...わかり...ました...





アニキ、
持って
来やしたぜ

おう。
俺様は処女に
優しいからな



ほらよ、キレイに
剥いてやったぜえ



あっ

あっ

あうっ



ひっ

トッ



んっ

や...

んっ

んっ

ふうふ
こんな上玉に
ありつけるたあ
ラッキーだったぜ

やっと終わった…

はあ

はあ

アニキ、
アニキ！次
俺いいっすか！？

ズルル

ドロオ..

次…？

次ってなに…

よいしょ♪

ズマッ

!?

うわっ
ドロツドロ…
アニキ出しすぎ
ですぜ

嫌いっ
あ!!

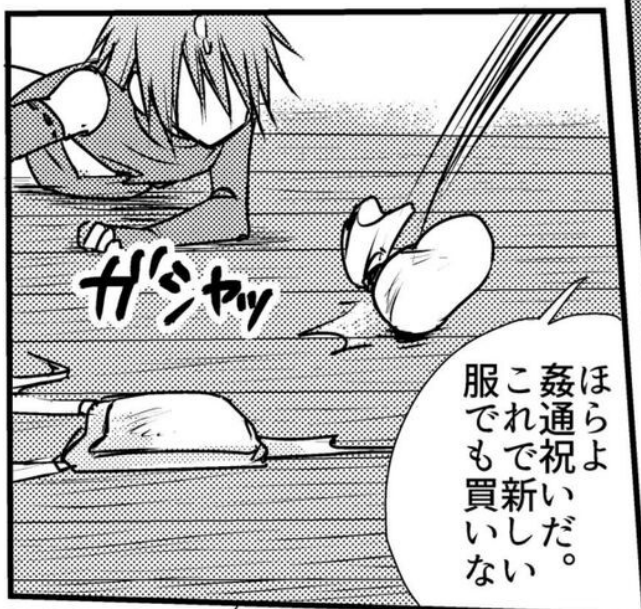
ズマッ

ズマッ





ま、
必ずしも情報
得られるとは
限らないって
こつたない



ほらよ
姦通祝いだ。
これで新しい
服でも買いた
ない



え...?
じゃあ...じゃあ僕...
あんな事しなくても...



こんなことで
くじけられない...



この胸当てと服...
母さんが必死で貯めて
旅立ちの為に
買ってくれたのに...

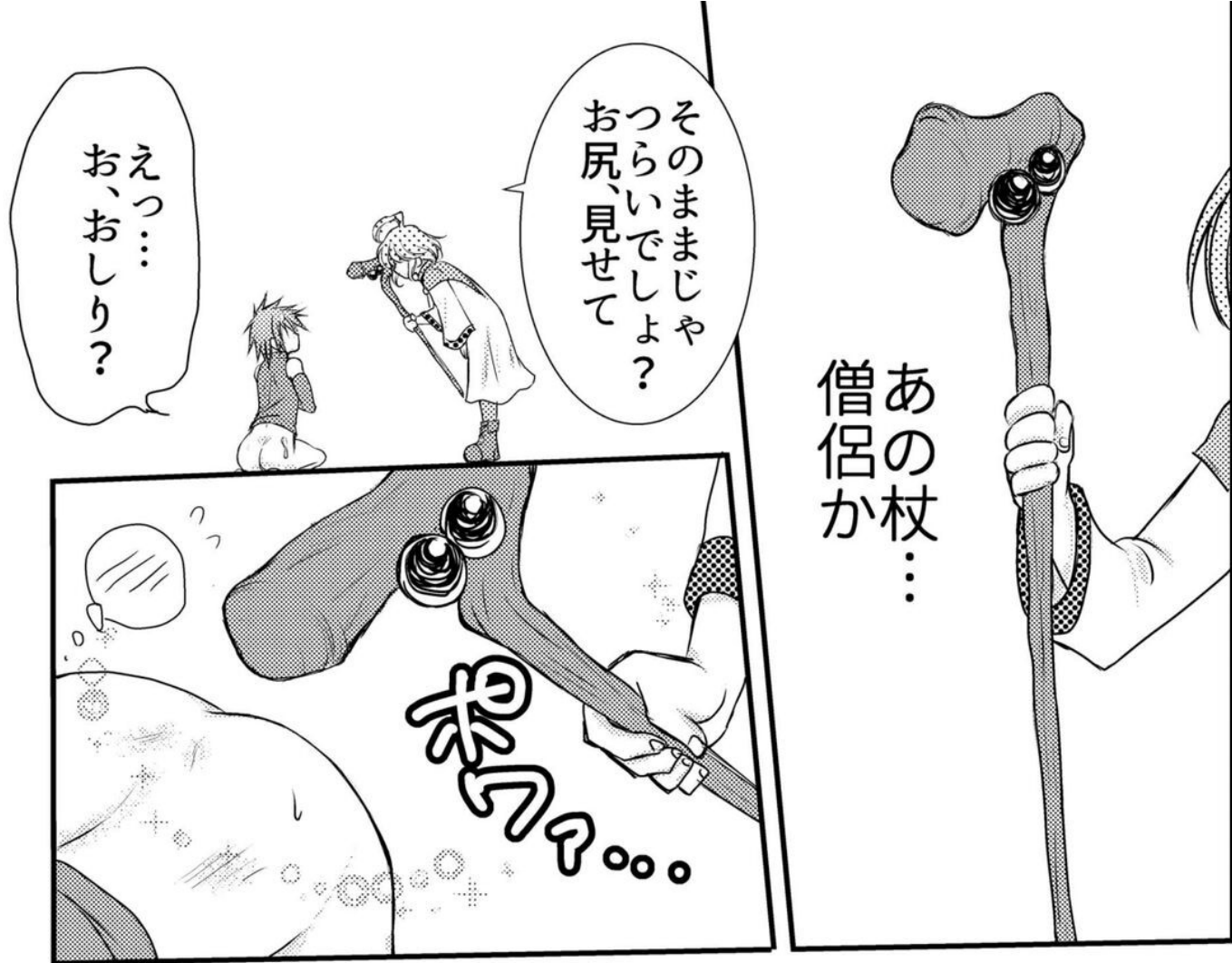
第二章・はじめての出会い





こんな所：
早く立ち去ら
なきゃ：

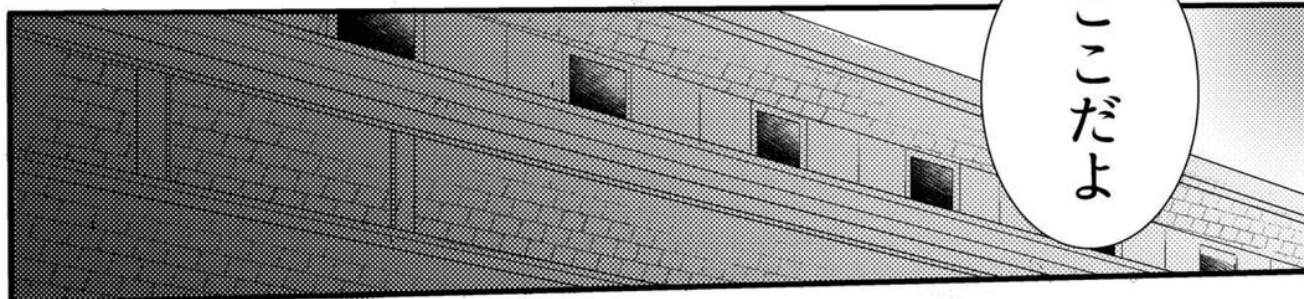




ボクがとつてる
宿が近くにあるから、
そこに行かない？



ここだよ



この子一人で
宿泊って案外
僧侶が
いいんだな
羽振りが



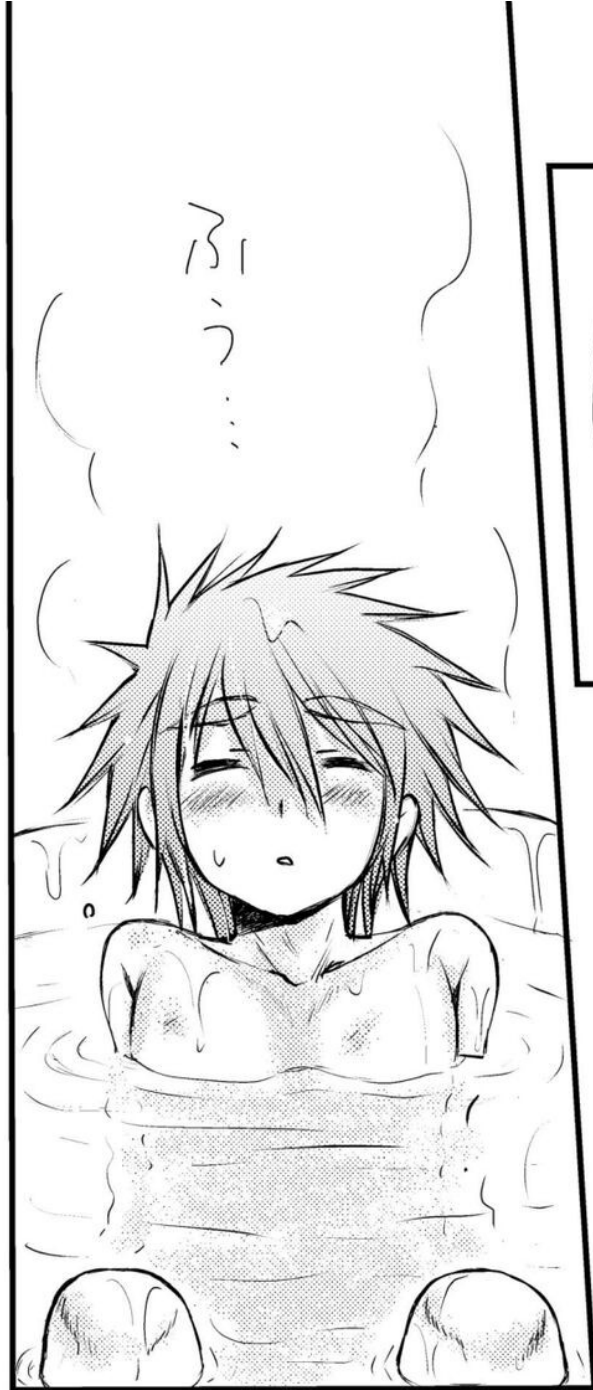
ボクの部屋、
おつきいお風呂
あるんだろ。風呂
使っていいよお

うん…
わざわざありがとう



裂傷は塞いで
もらったけど…
まだ何かお尻に
挟まってる感触が
して気持ち悪い…





ちゃや
ふや
…

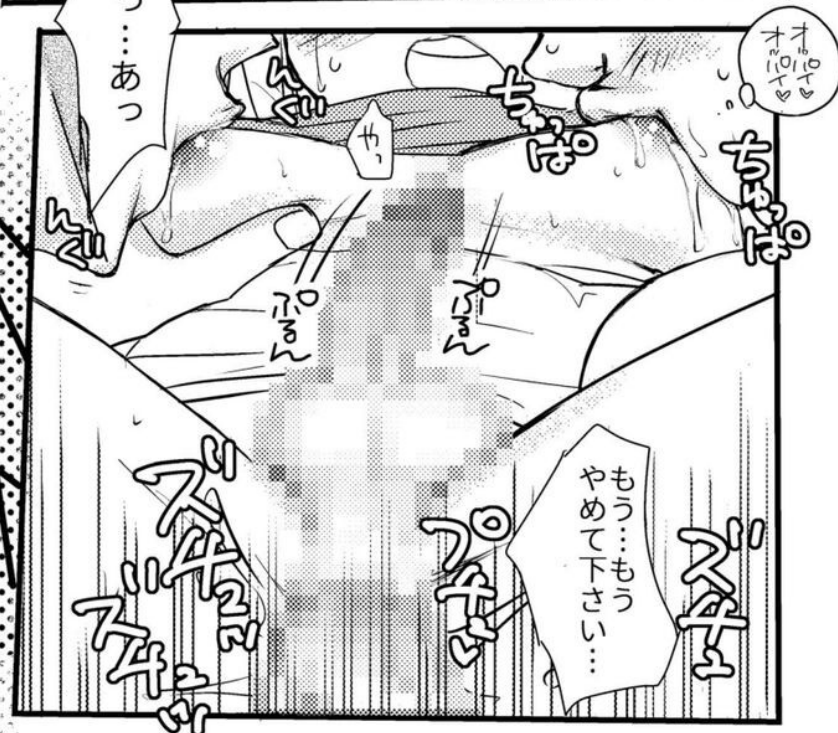


嫌あ

やっ



あっ…あっ



もう…もう
やめて下さい…

嫌…嫌だああ!!



極力
考えない様
にしないと…







ちよ、ちよっと
待ってよ

だーめ♡
ウズウズ
してるもん

おにーさんの
おちんちん、
かわいい♡

剥いて
あげるね♡

こ...
この子...

ん

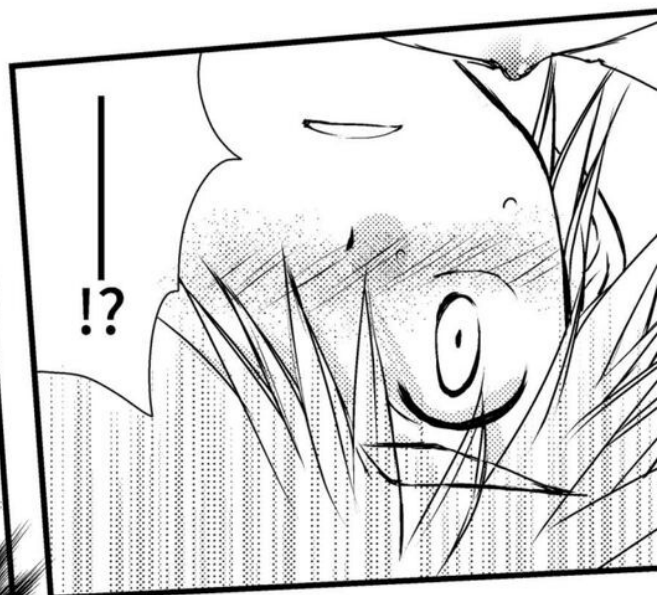
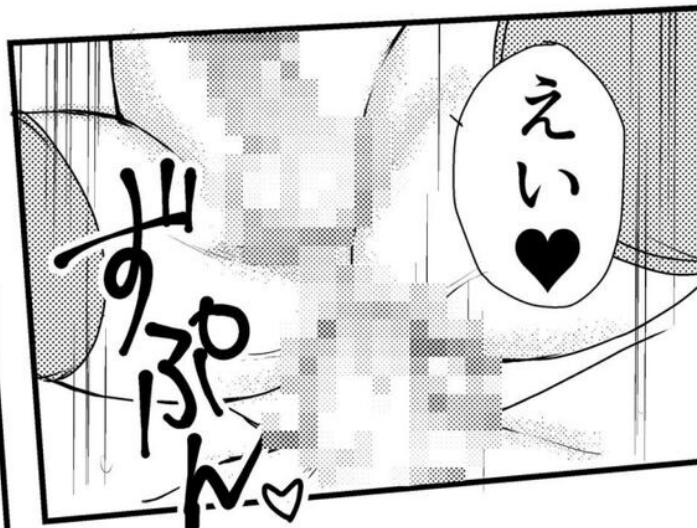
ん

すごく
手慣れたる
!?

ちよちよ

ちよちよ





なんだこれ...
す、すごい
気持ちいい...





あ、

ちくびすっごい
勃ってるよ？
ボクのお尻そんな
気持ちいい？

ズ、

そ：そんなに
弾まれたら
出ちゃう：



かわいい♡

ひゅっ



ぶるん

ぶるん

ズン

ズン



うわぁ



ねえ：ボクのも
舐めてえ♡



ふにゃっ!?



イイ♡
あんっ





その場の
雰囲気
で
年下の同性に
あんな事...



ねえねえ
おにーさん
ボクの護衛に
ならない？♥

えっ

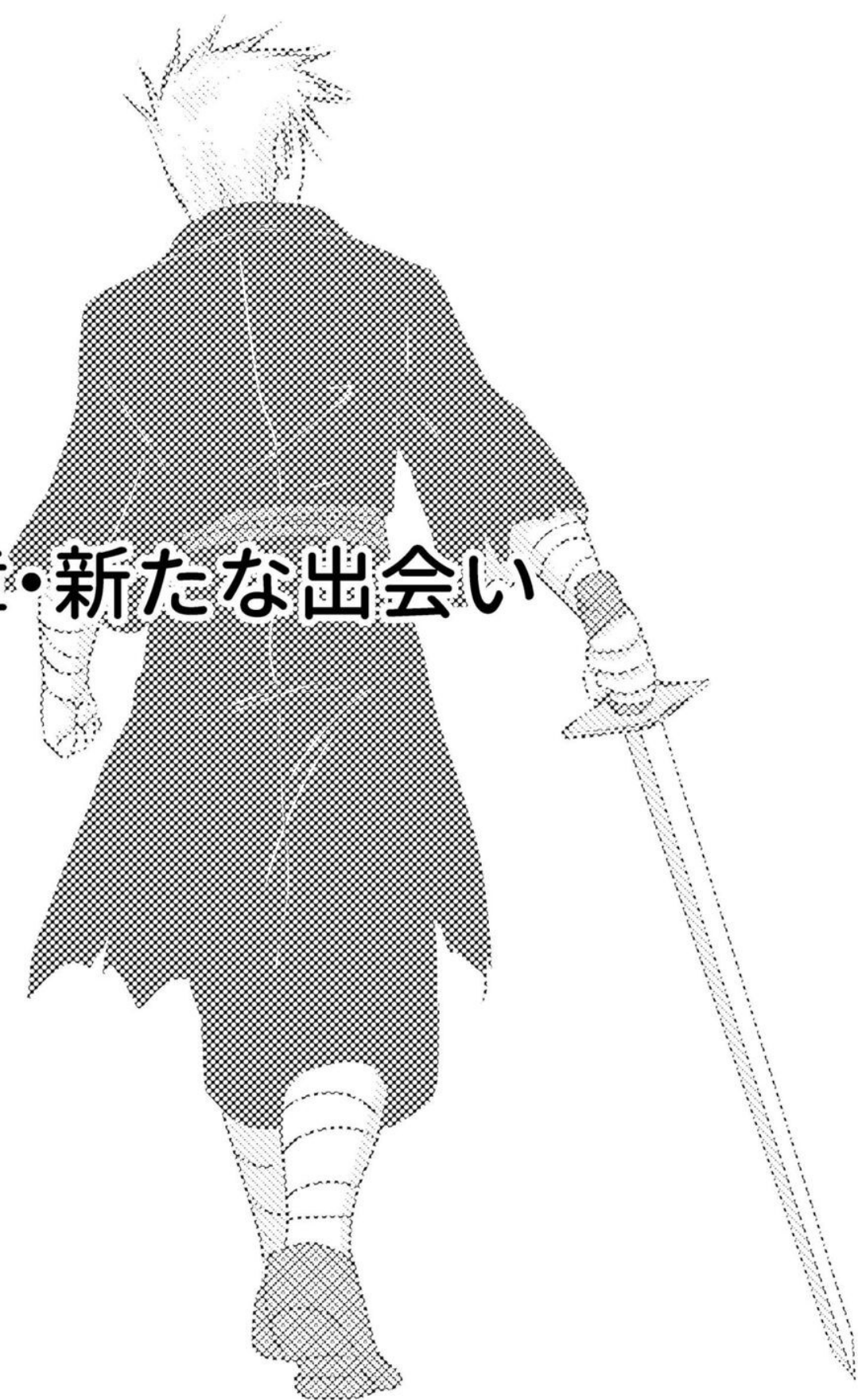
ボク、おにーさん
気に入っちゃった♥



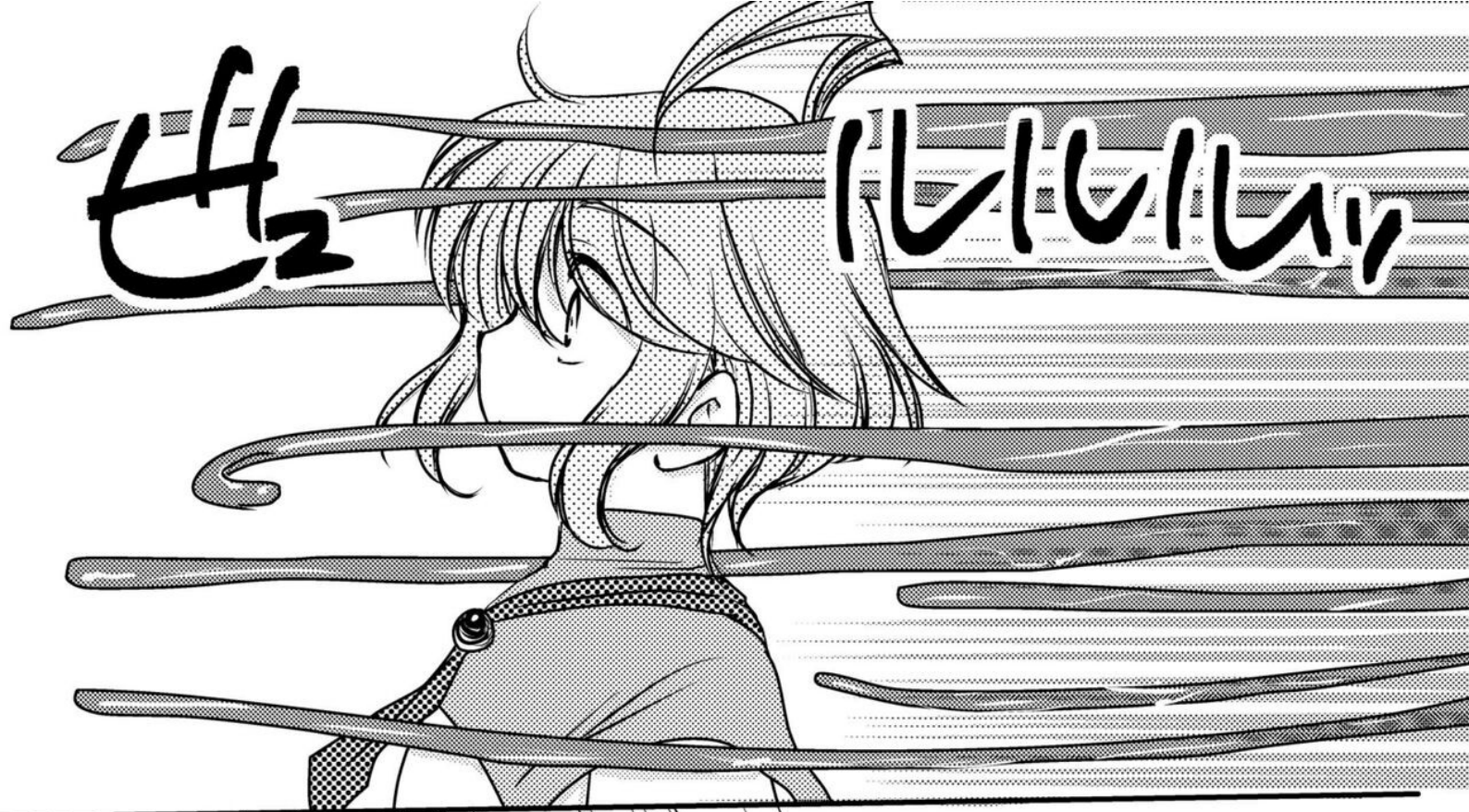
明日からは
賑やかな旅に
なりそうだ。

いろんな意味で.....。

第三章・新たな出会い







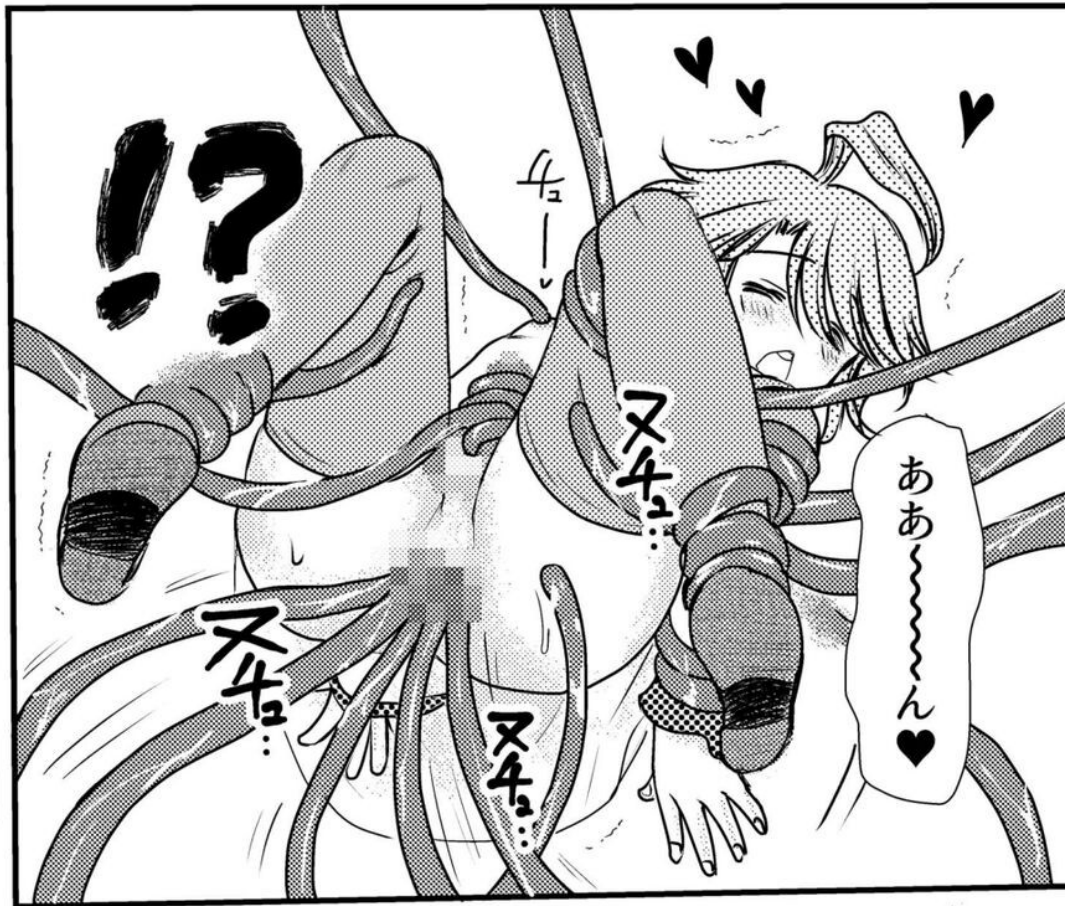
しまった…
剣が…!!

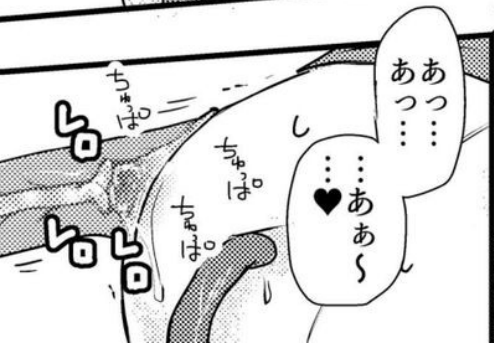


エルム!!

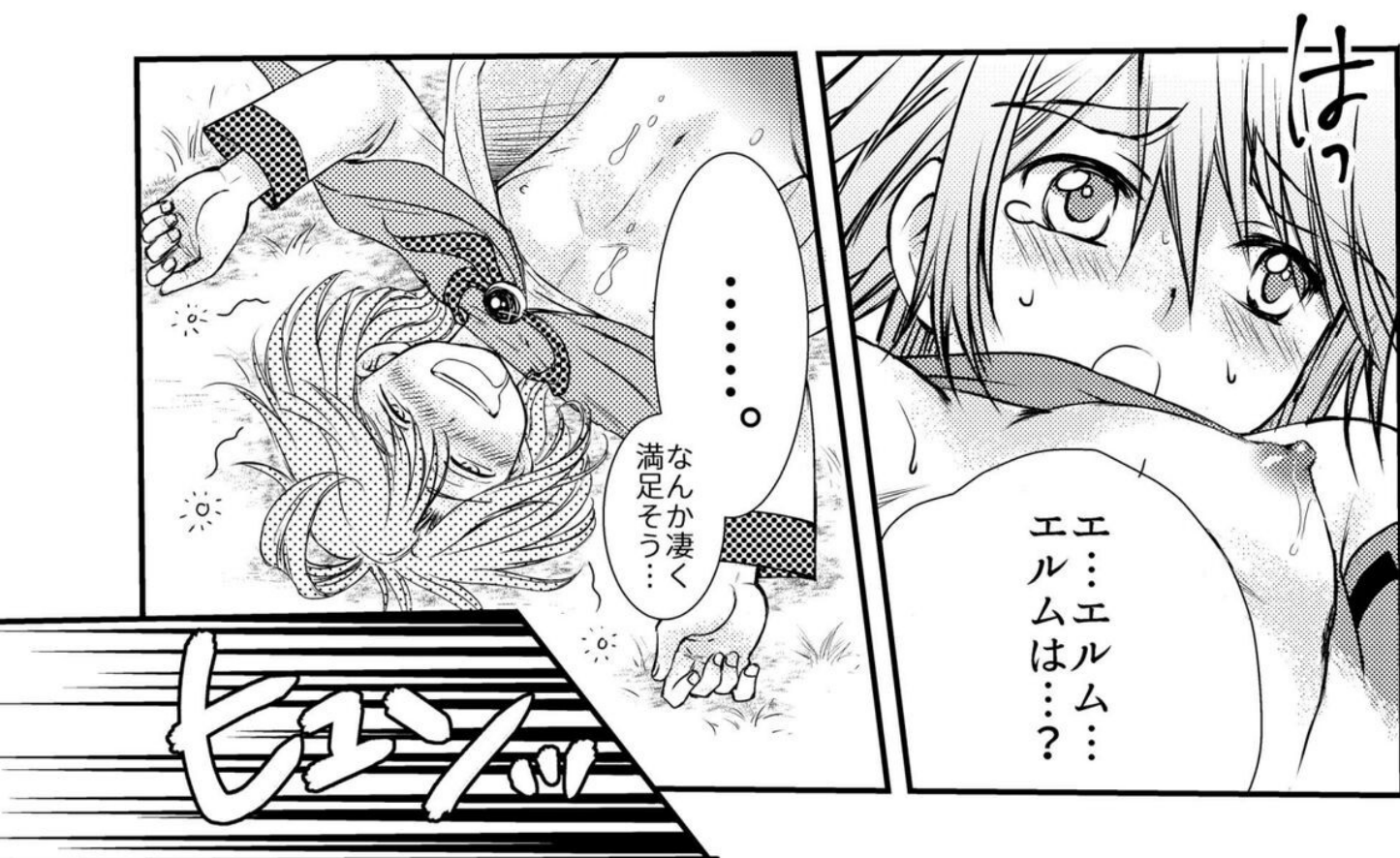


くそっ!!
エルムを放せ!!







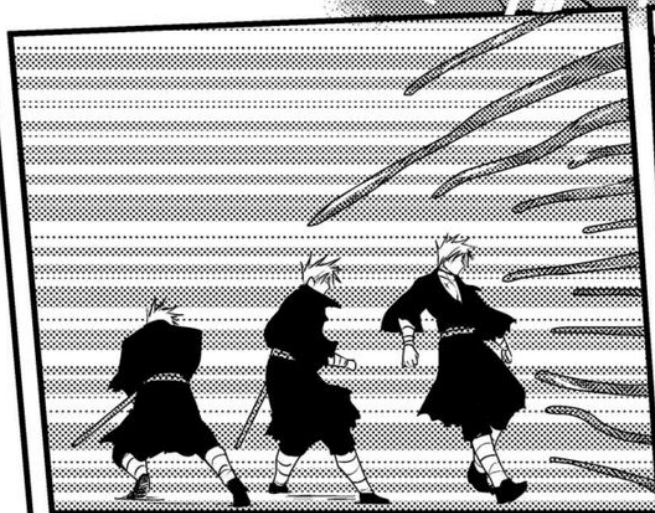
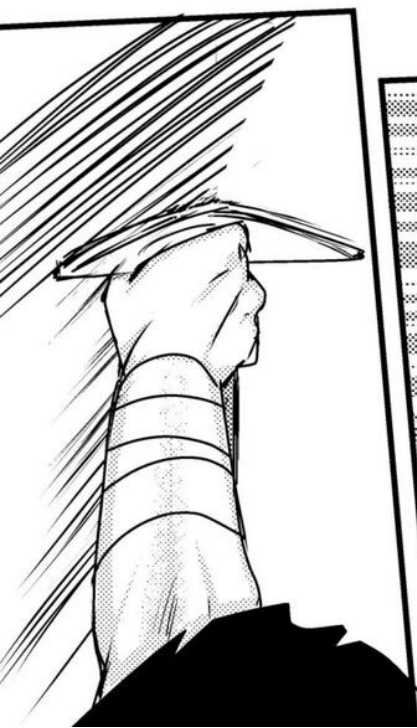




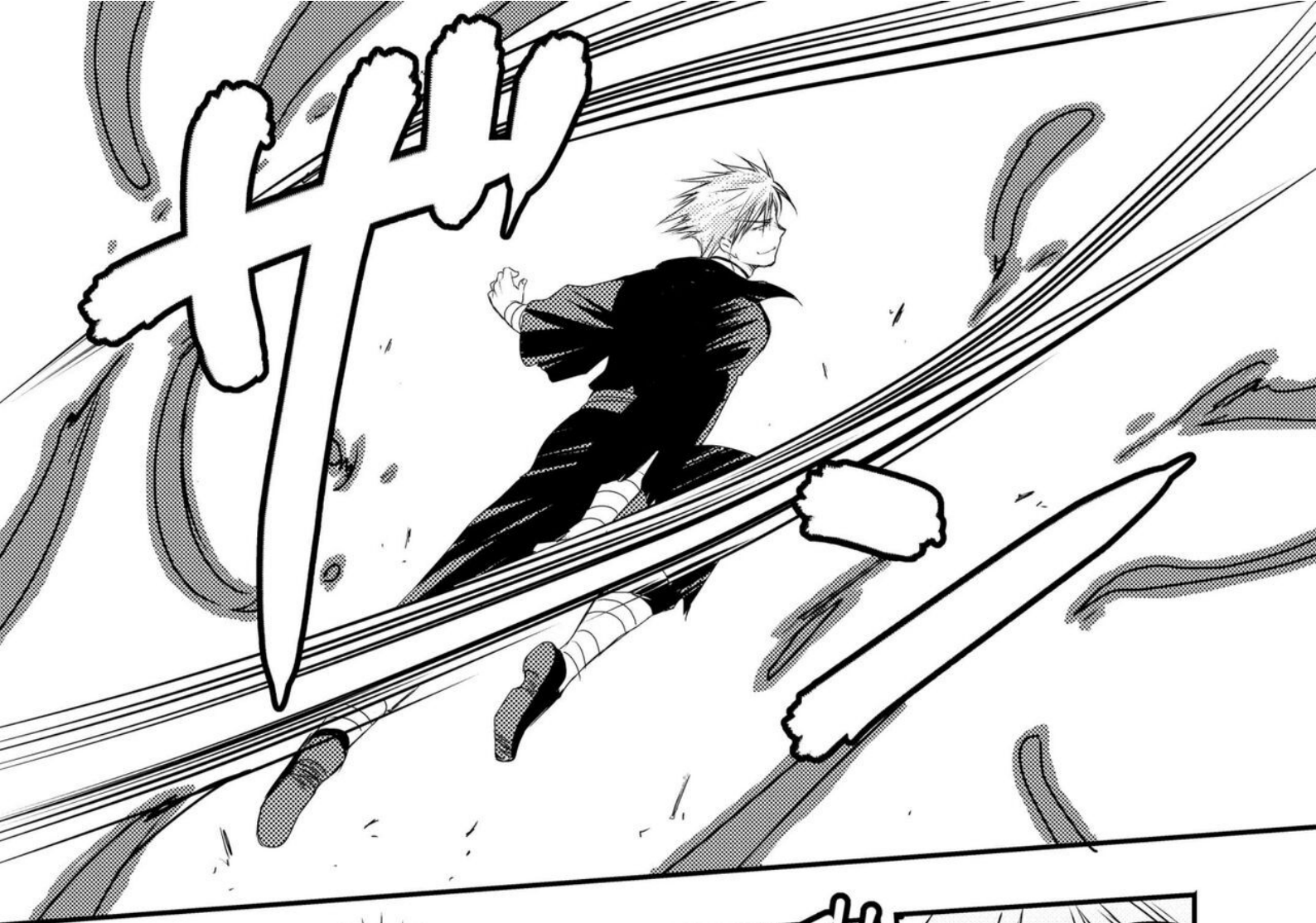
僕の剣!?

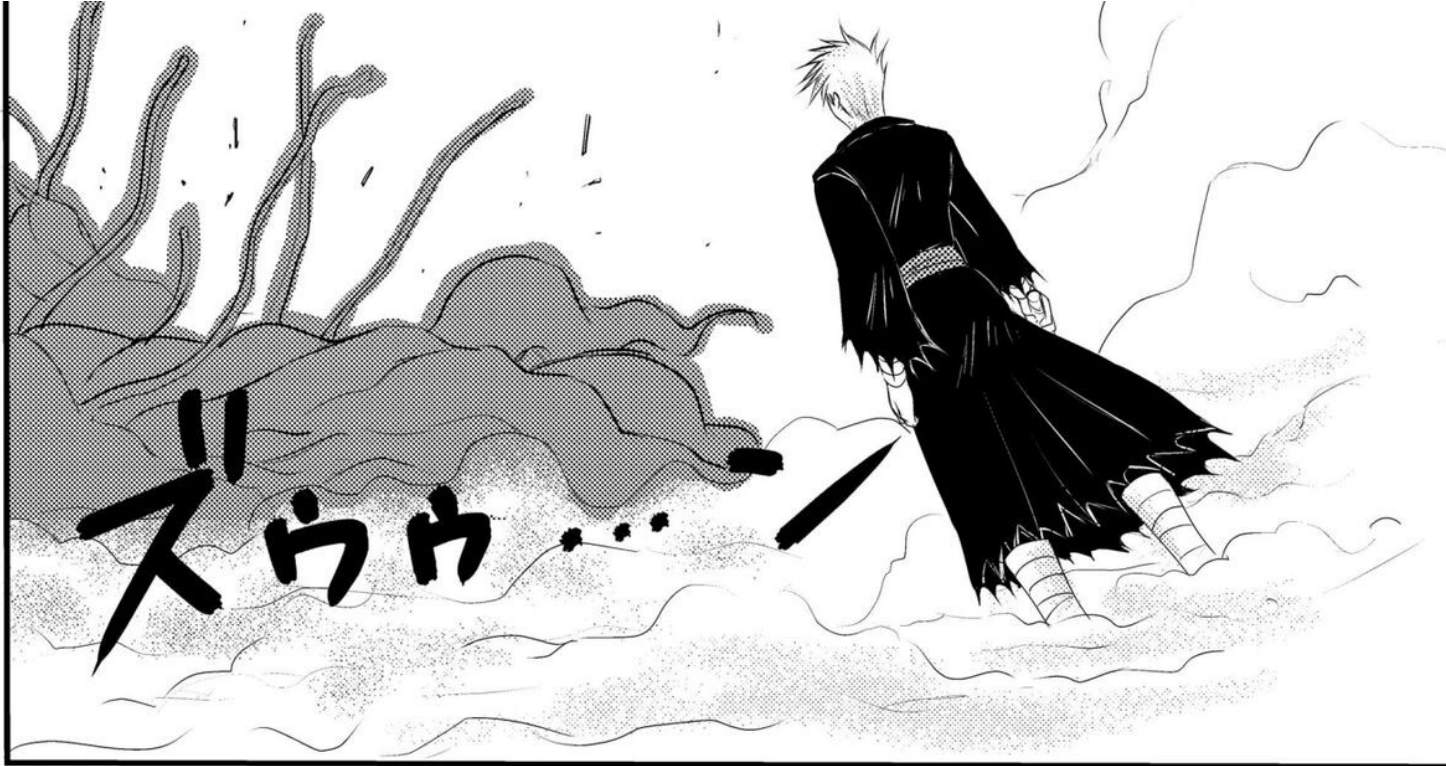


だ…誰?



危ない!!





悪いな、
もつと早く
助けたかったんだが

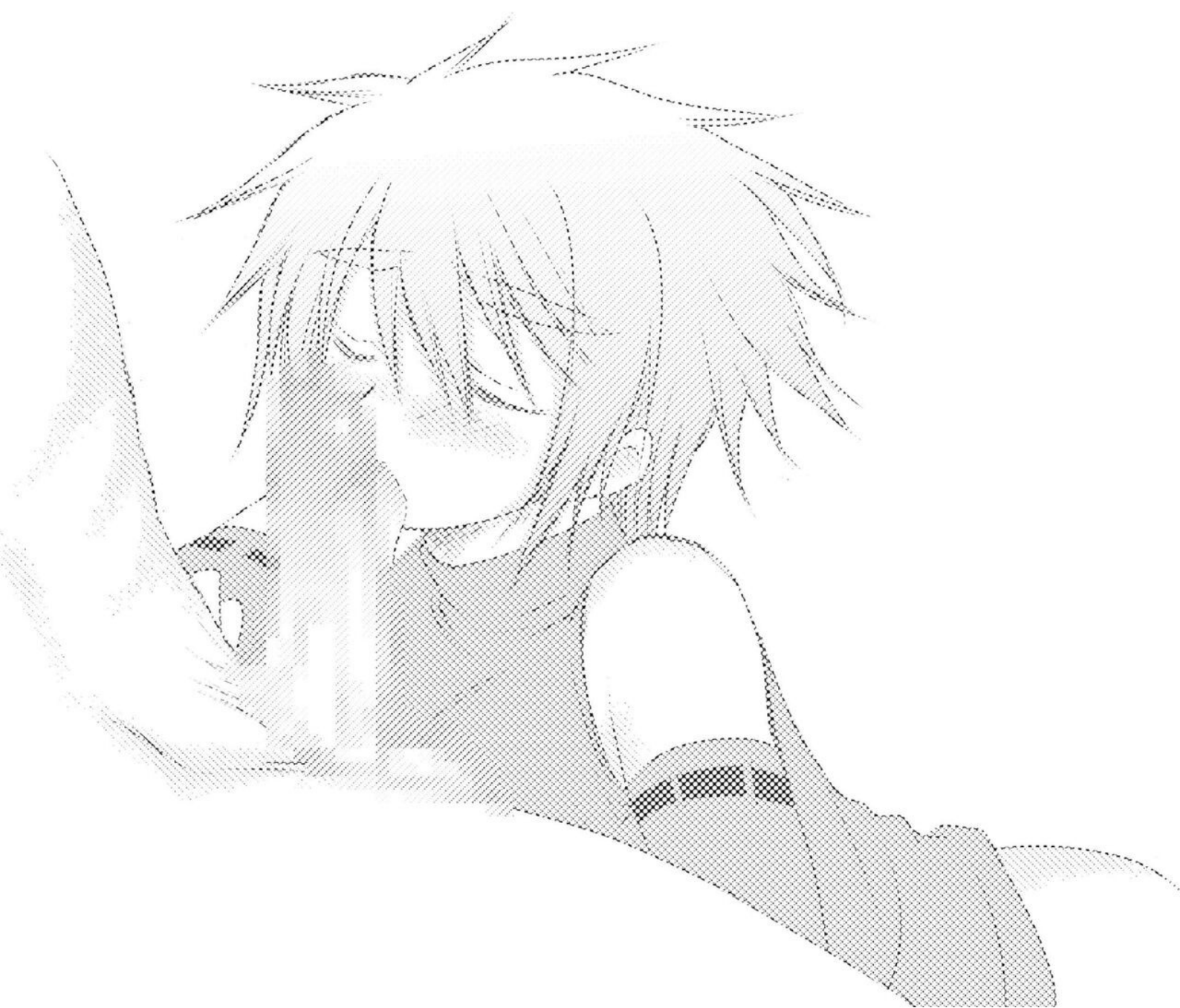


い...いえ...
あ、ありがとう
ございます...!!

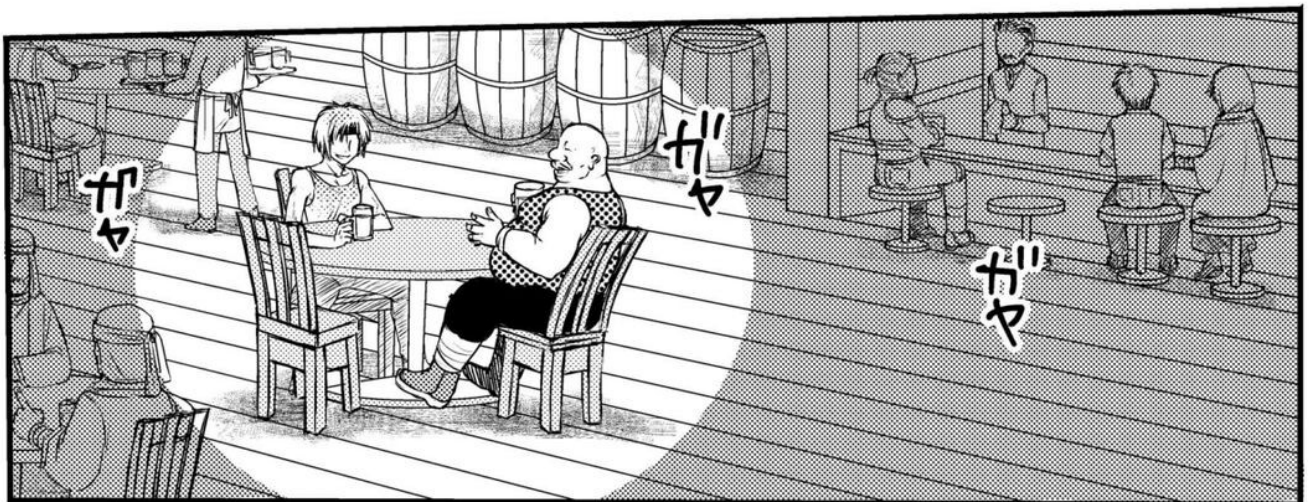
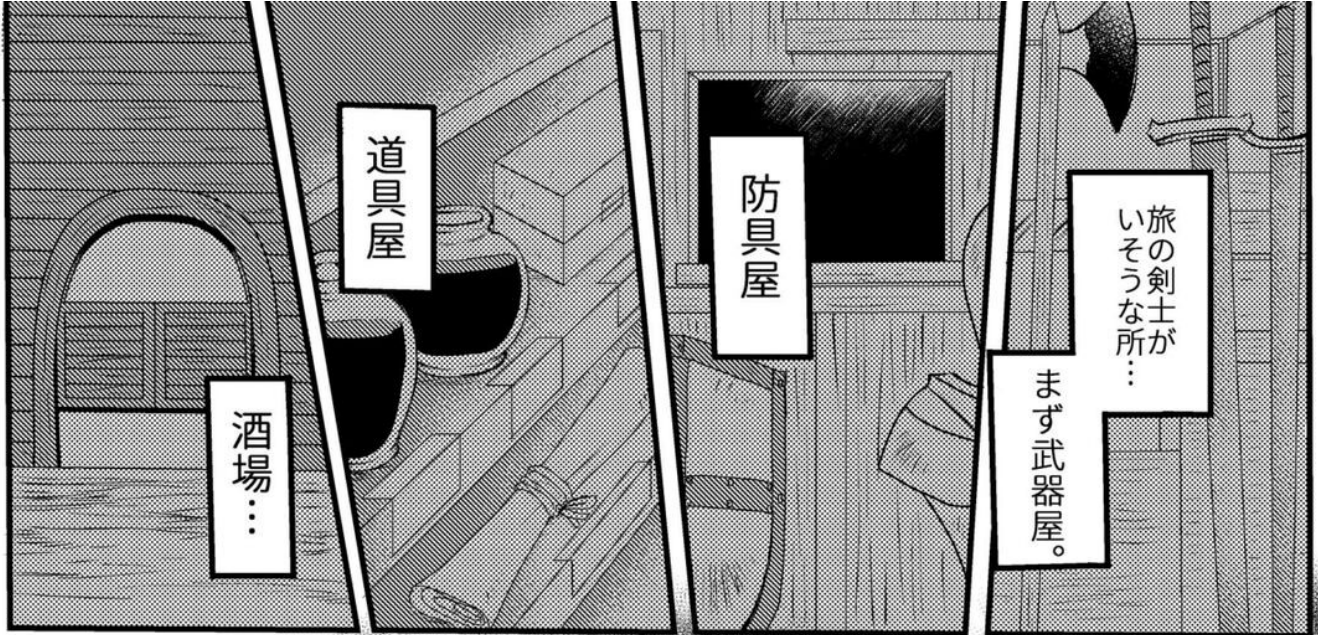




第四章・憧れの剣士



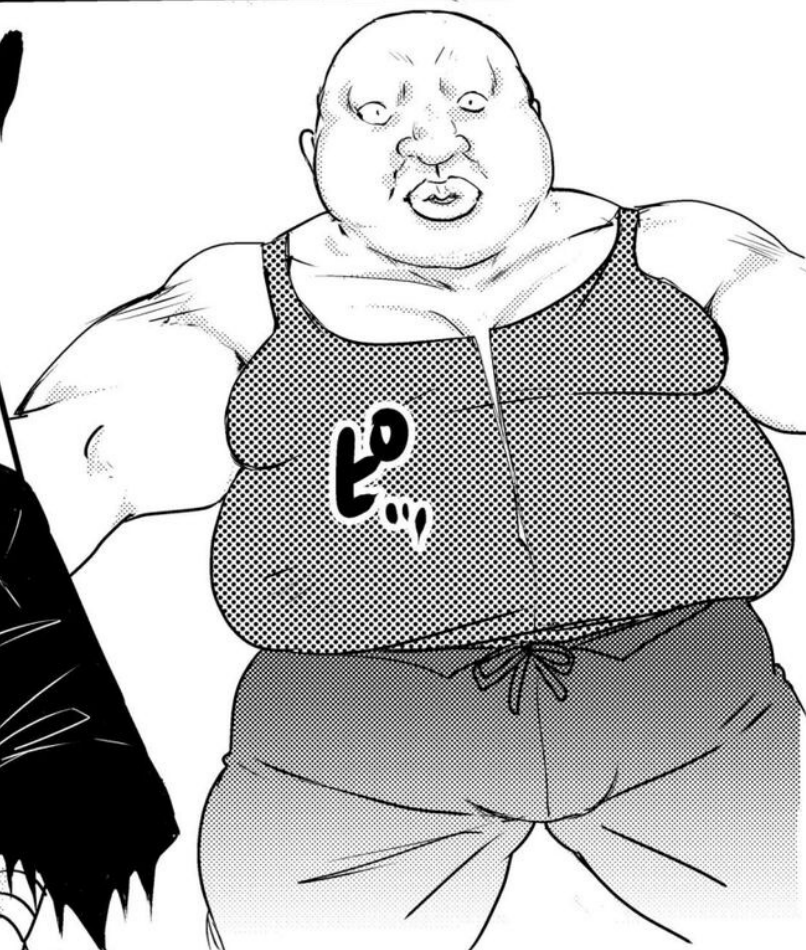






何だ
テメエ

ス
ッ
ッ



キ...キルさん...!!

へほ
へほ



くくそ!!
今日はここまでに
してやる!

あつアニキ
どこ行くんすか
ここ



次は肉を
斬り落とすぞ



アツシュとか
言っただな。こっちは
お前が来る様な
場所じゃねえぞ

ぼっ僕、
あなたを
探して
たんです!!
仲間になつて
欲しくて...

俺を？

ボクも
おにーさま
みたいにな
りたいな
♡
欲メしい？

おにー
おにーさま？

俺は一人が
性にあってる。
他を当たれ...

ト
ト
ト
ト



お願いします!!
あなたの力を
貸して下さい!!



あの!!

憧れの剣士が...。
こんな近くに...。
こんな機会、一度と
ないかもしれない!!

仲間が無理なら
剣の稽古をつけて
くれるだけでも
構いません



お願いします...!!

どうか...!!



どうしても
：ってんなら
条件が無い事もねえ

本当ですか!?

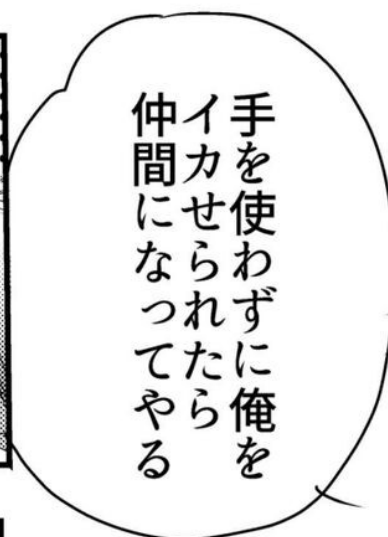
いそり

あ、



手を使わずに
イカせる...?

フエラとか
あんだろ
知らねえのか?



手を使わずに俺を
イカせられたら
仲間になってやる



かあああ

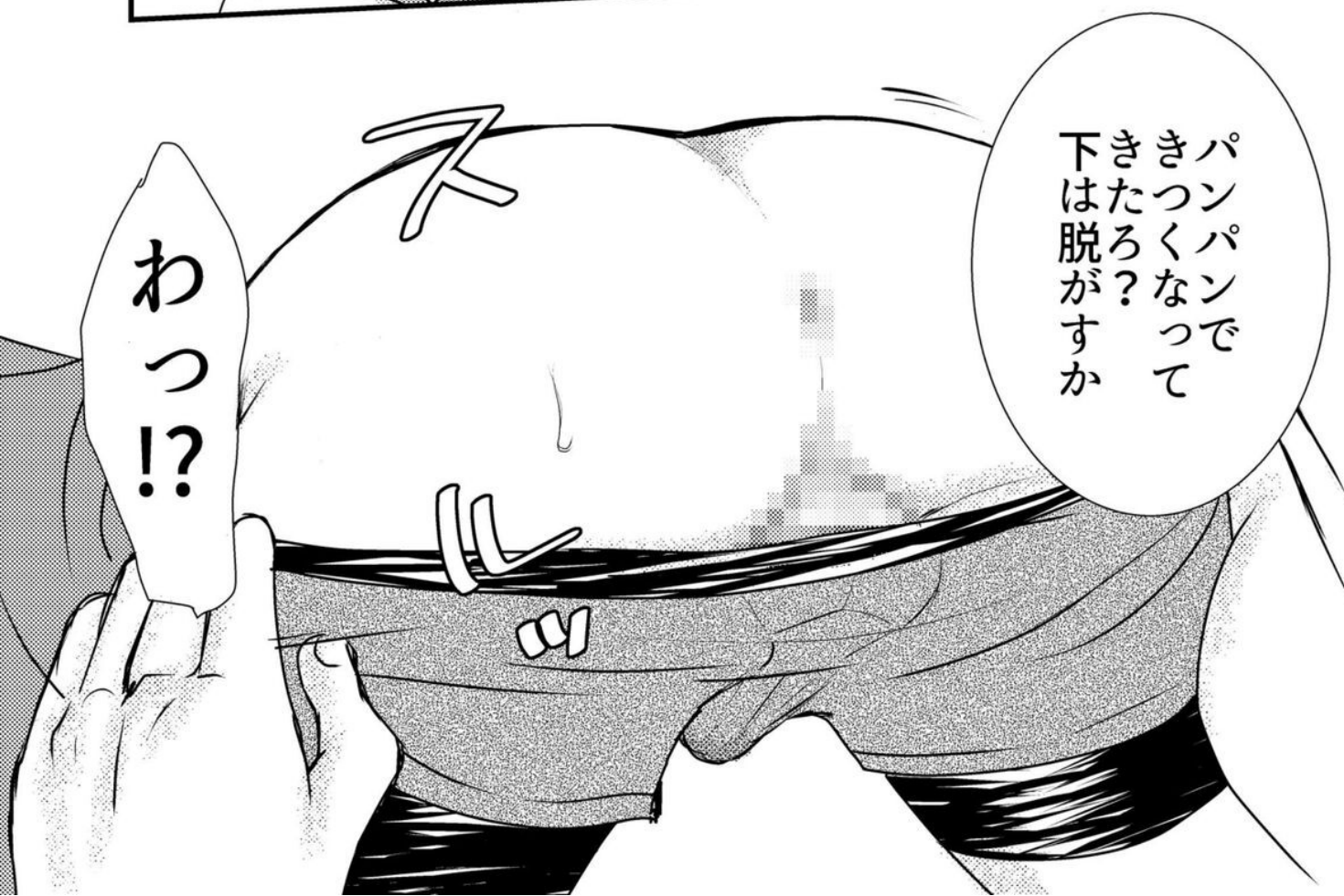
フエ...!?

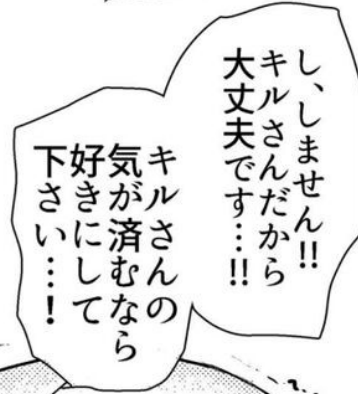
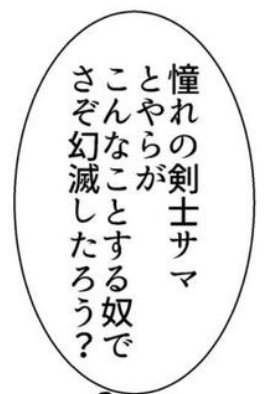
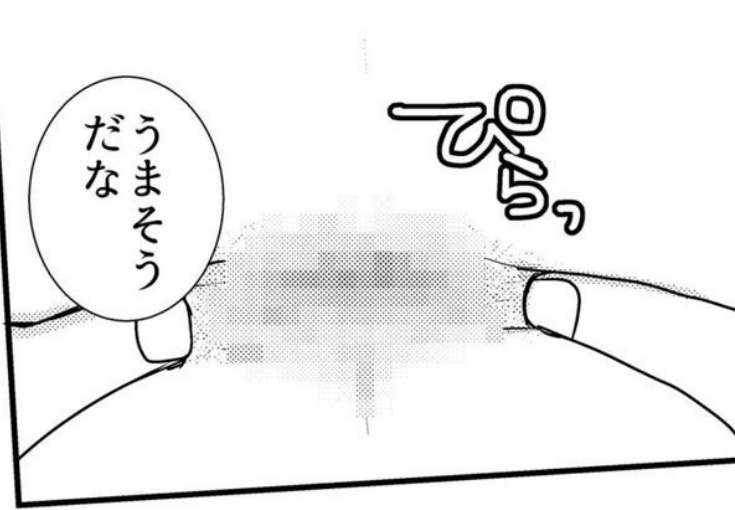














頑張ったのに
ダメだった…。

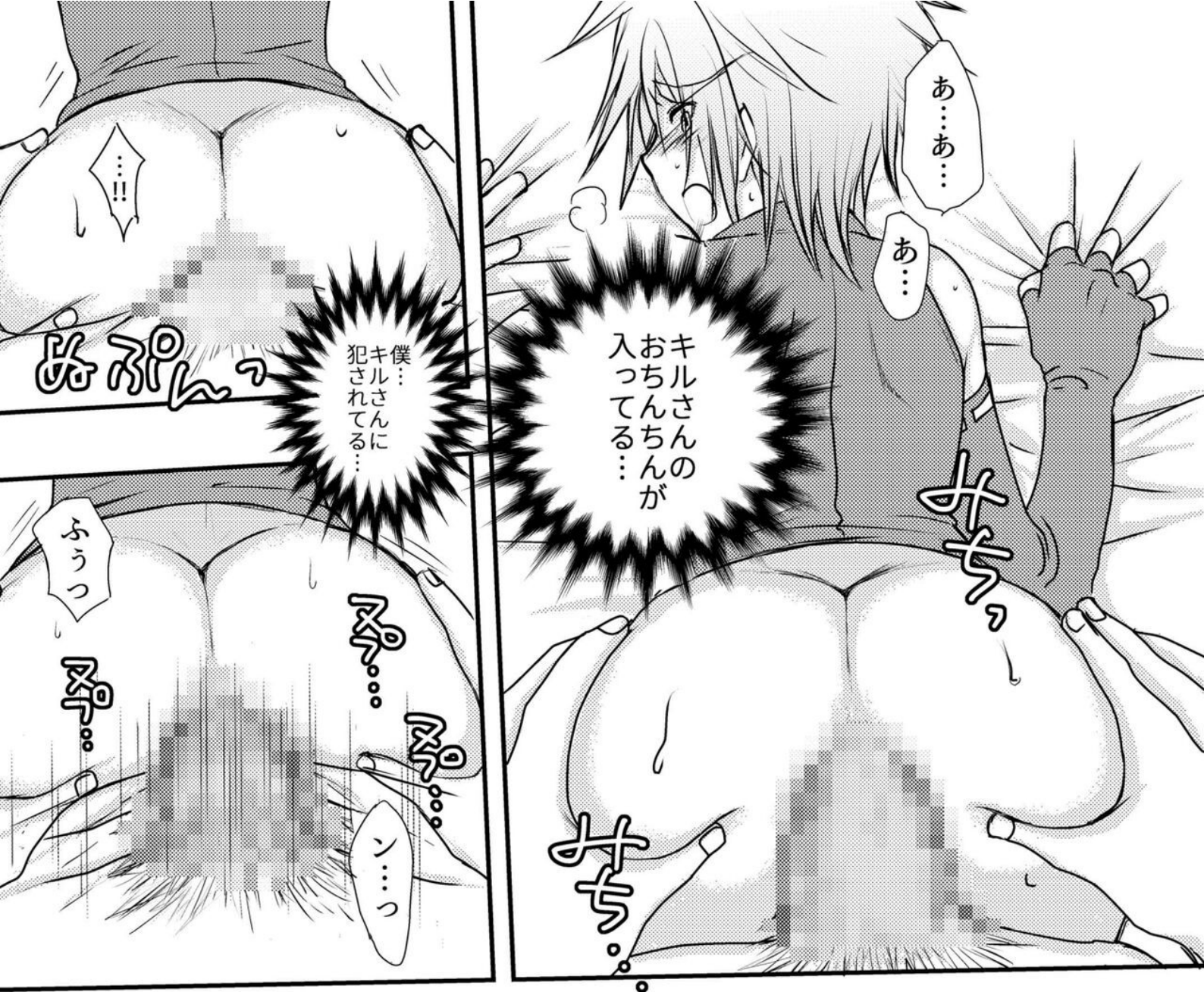
せっかくのチャンス
だったのに…





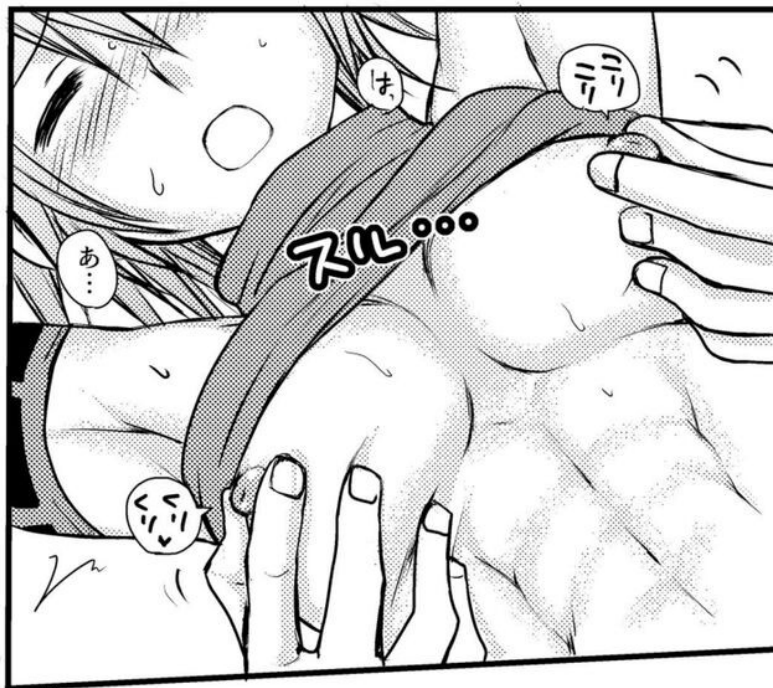
そうか







ん？
お前、ココすげえ
感じやすいのな



キラさんが
触れる所全部
じんじんして…
すごく
気持ちいい…

腰が勝手に
動いちゃうよお

僕…こんな事
されて喜んでる…
きつとそれは
相手が
キラさんだから…

キラさん…ダメ…

ダメえ…♡

はあっ

あっ…あ…

ああ…



もっと...
もっと...
キルさんにして
欲しい...

いつから僕は
こんなはしたない
子になった
しまったんだろ...



憧れの感情
僕だけじゃない...
僕...僕...
キルさんの事...



ドク
ドク...

約束通り、
仲間になって
やるよ

ぎゅっ...

え.....?

お前は手を
使わなかったし
俺はイッただけ
約束は約束だろ。

あの、あ、あれで
いいんですか...?

あ？すっげえ
良かったぜ？
締まり具合が
絶妙だよ...

...!?そ、
そっちな
意味じゃない
です!!

まだまだ
挿入れていた
ぐらいだぜ...

あ...

ぬぽ...

まったく、ちよつと
からかってやる
つもりだったのによ、
本気になっちまった



さて、酒場で
待ってるあの
ちっこいのにも
挨拶せんとな

はい！

えと、
キ、キル…

キル



これから一緒に
旅するんだ、
よろしくなアツシュ。
俺の事はキルでいい

は、はい！僕の方こそ
よろしくお願いします
キルさ



ああ、それと
今度は俺が
お前のを口で
イカせてやるよ

はい！…し
え？
ええ！？

それってまた
キルさんと
エツチなコトを
するって事…？



冗談なのかもしれないと
思いつつも、
僕はちよつとだけ
次があることを
期待してしまった。

ここまでお読み下さりありがとうございました。
この作品はPixiv小説に投稿しているシリーズを元に
同人誌用に漫画化したものです。
小説時は親知らずの抜歯の痛みを紛らわせる為に
物凄い速さで書いていたのを思い出します…;

今回はキルさん加入までを描きましたが、一応BL
なのによく考えたらキスシーンが皆無という有様
でした…。
次回があればもっとねっとりしたイチャラブHを
描きたいなあ～と思っております！

2016.8月 まぶき

モブや触手に先を越されたので
対抗してアッシュ君のおっぱいを
吸いまくるキルさん



発行サークル・むぎしぼり
著者・まぶき
発行日・2016.8.28
(一部作画修正版:2022.8.06)

Pixiv/2475464
twitter @mabuki_shibori

※この本の内容の複製、転載厳禁※

